

福島県農林水産業復興創生事業ロジックモデル

現状把握 ・課題設定	インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム			インパクト
<p>東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評により、福島県産農林水産物等の価格は、主要農産物等で東日本大震災前の水準に回復していない状況</p> <p>福島県の農林水産業の復興・創生に向けて、生産から流通・販売に至るまで、風評の払拭を総合的に支援することが必要</p>	<p>予算：3,955百万円</p>	<p>①品目毎の取組として、園芸、畜産、米・米加工品ごとに、福島ならではのブランドの確立と競争力の強化を支援</p> <p>②品目横断の取組として、放射性物質検査、国内外の販売促進の取組、第三者認証GAP等の取得、風評の実態と要因の調査等を支援</p>	<p>①安定的に高品質な農産物を定量供給するためのに必要な、作付け実証、土壌分析、園芸施設・機械導入等を実施した地区数ほか</p> <p>②放射性物質検査の点数ほか</p>	<p>【短期】</p> <p>①作付け実証や土壌分析結果、導入した施設・機械等の活用</p> <p>②福島県産農林水産物等の安全性の確保</p>	<p>【中期】</p> <p>①市場への高品質な農産物等の安定供給</p> <p>②消費者の安心感や信頼の回復</p>	<p>【長期】</p> <p>市場の信頼獲得、シェアの拡大、買いたたきの減少、福島県産の食品の購入をためらう人の割合の減少</p>	<p>福島県産農林水産物等の風評を払拭し、価格を震災前の水準に回復</p>